

| | | | | 部会名 | 暮らし |
|--|------------------|-----|---------|-------|--------|
| 施策No. | 2-6-3 | 施策名 | 地域医療の充実 | 施策主管課 | 健康づくり課 |
| 施策の目指す姿 | 安心して必要な医療を受けています | | | | |
| ■ 施策評価シート(令和2年度実績評価)について | | | | | |
| <p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。 機能している。</p> | | | | | |
| <p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 「かかりつけ医」と「かかりつけ歯科医」に関する成果指標と達成状況の内容を構成する成果指標である数値は、回答者が特定されていない市民アンケートの結果を前提とするものであるため、その数値は一般的な傾向を示すものではあるが、実数を反映しているものではない。各年度のアンケートの数値の上下をもって、実態として「かかりつけ医」あるいは「かかりつけ歯科医」をもつ市民の数が上下しているというように理解することはできない。施策の効果をより正確に把握しようとするならば、この指標の他に、啓発活動としての健康講座やセミナーの受講者数とそのなかからその後「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」をもつ市民の数がどれくらい増えたかを把握できる指標の検討も必要なのではなかろうか。</p> | | | | | |
| <p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 的確に行われている。</p> | | | | | |
| <p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 「課題」にある「病診連携の仕組みとかかりつけ医の必要性について、さらに市民に対して普及啓発を行う必要がある」に対し、「今後の方向性」のなかでコロナ禍という特別な状況を踏まえたうえで「各種健診などの機会」を活用するとする現実的な方法を方向性として示している点は評価できる。欲を言えば、それと併行して通常の状況のなかで行う「普及啓発」に関する、より効率的な方法を方向性として示すことができればさらに良いのではなかろうか。</p> | | | | | |
| <p>●シート記載内容全般について (書くべき内容量と書けるスペースとの関係から仕方のないことかもしれないが、可能であれば紙の枚数を多くしてもかまわないので)字をもう少し大きく表示してもらえると有り難い。</p> | | | | | |